

〈中学校 道徳〉

道徳的価値の自覚を深める 授業展開の工夫

ーユニバーサルデザインの視点を取り入れた
授業づくりをとおしてー

宮古島市立平良中学校 砂川 恵

我が国を取り巻く課題と生徒への影響

少子高齢化→孤立化・家庭教育力低下
情報化社会→コミュニケーション不足・希薄化

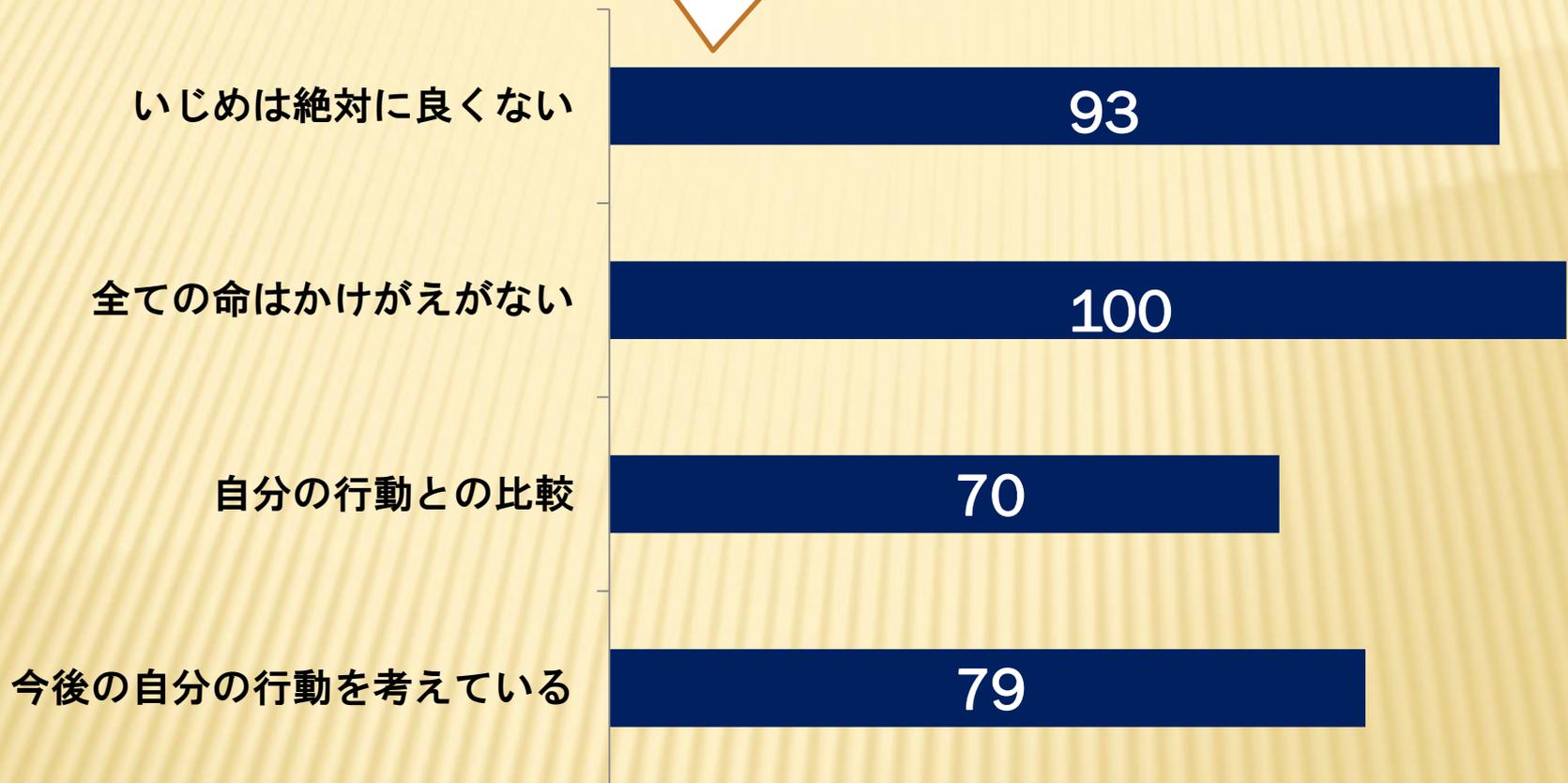


いじめ・自殺・犯罪・殺人



道徳教育の充実

生徒の意識調査



課題

自分事として捉えていない
価値の深まりのある授業

目指す生徒像

- 授業をとおして、道徳的価値の自覚を深められる生徒
- 授業をとおして、将来に生きる道徳的実践力を持った生徒



二人一組の対話や小集団による話し合い，自分の考えをまとめて書く活動などを取り入れ，授業形態に工夫を加えること

資料の種類や内容の程度、更に分量などの違いがあり、提示の仕方によって生徒の興味・関心の程度や理解の深まりが左右される。生徒が資料の内容を臨場感をもって理解することができたり、主人公や筆者の感じ方や考え方に共感するようにするなど、資料の特性を生かす資料提示をすることが大切。

ユニバーサルデザインの視点を
を取り入れ、資料の提示や話
し合い活動を工夫すること
により、道徳的価値の自覚を深
めることができるであろう。

- (1) 生徒の実態調査の分析から課題を把握する。
- (2) 「道徳的価値の自覚の深まりとは」について整理する。
- (3) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業のあり方を明らかにする。
- (4) 資料提示の工夫による道徳的価値の深まりについて、生徒の変容を明らかにする。
- (5) 仮説検証のための授業実践及び授業分析を考察し、研究の成果と課題を明らかにする。

道徳的価値の自覚を深める

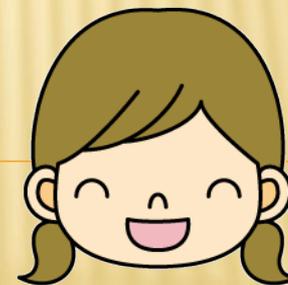
1 道徳的価値について理解する

① **価値理解** : 道徳的価値は大切であること

友達と仲良くすると
本当楽しいんだなあ
...



目標に向かってがんばっ
てやり遂げたときは
いい気持ちだなあ...



道徳的価値の自覚を深める

1 道徳的価値について理解する

② **人間理解** : 道徳的価値は大切ではあるが
実現は難しいこと

困っている人に親切にするのは大事だけれど、声をかけることは難しいな…



みんなで使う物や使う場所で、みんなに迷惑をかけてしまうことがあるんだな…



道徳的価値の自覚を深める

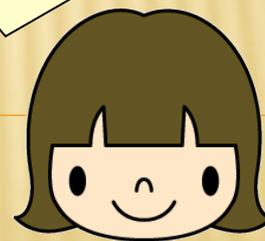
1 道徳的価値について理解する

③ 他者理解…道徳的価値の実現に向けては多様な感じ方・考え方があること

正しいと思ったことをやるときにも、いろいろな考え方があるなあ…



お世話になって「ありがとう」と言うときにも、いろいろな思いがあるんだな…



ユニバーサルデザインの授業づくりの定義

焦点化

授業のねらい，学習内容，発問を一層具体的にすること

視覚化

視覚的情報を効果的に活用し，興味・関心，理解，思考の活性化を図ること

共有化

それぞれの考えや自己の振り返りを交流し合い，互いに尊重し合ったり，一層前向きな気持ちを高め合ったりする

視覚化の工夫

学習指導要領

道徳の時間に利用される視聴覚機器には、テレビやVTR、DVD、ラジオや録画テープ、スライド、映画、OHPシート、写真等があり、指導内容が画質や音声などによって具体的な姿で提示できるため、生徒の興味を高め、感性に強く訴え理解を容易にすることができる。

視聴覚資料の提示

- ①映像資料の活用
- ②映像資料と読みもの資料の組み合わせの活用

「心情曲線」や「心スケール」の活用

視覚化の工夫

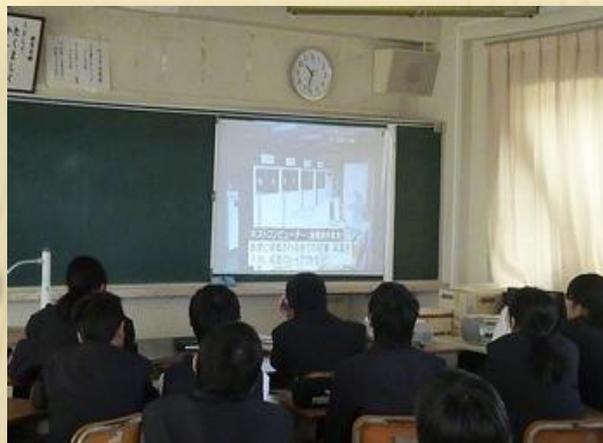
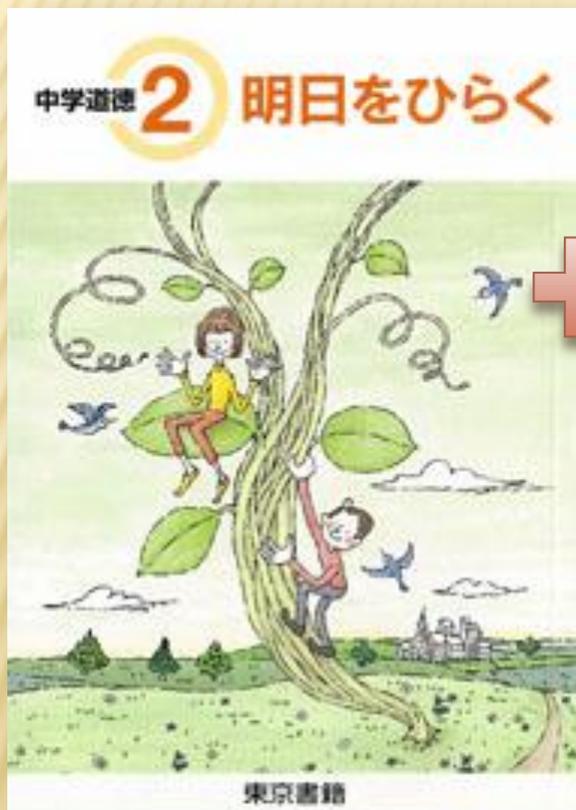
①映像資料の活用



- 映像を写真にして，黒板に掲示する
- 内容把握が困難な生徒にも効果的に活用できる

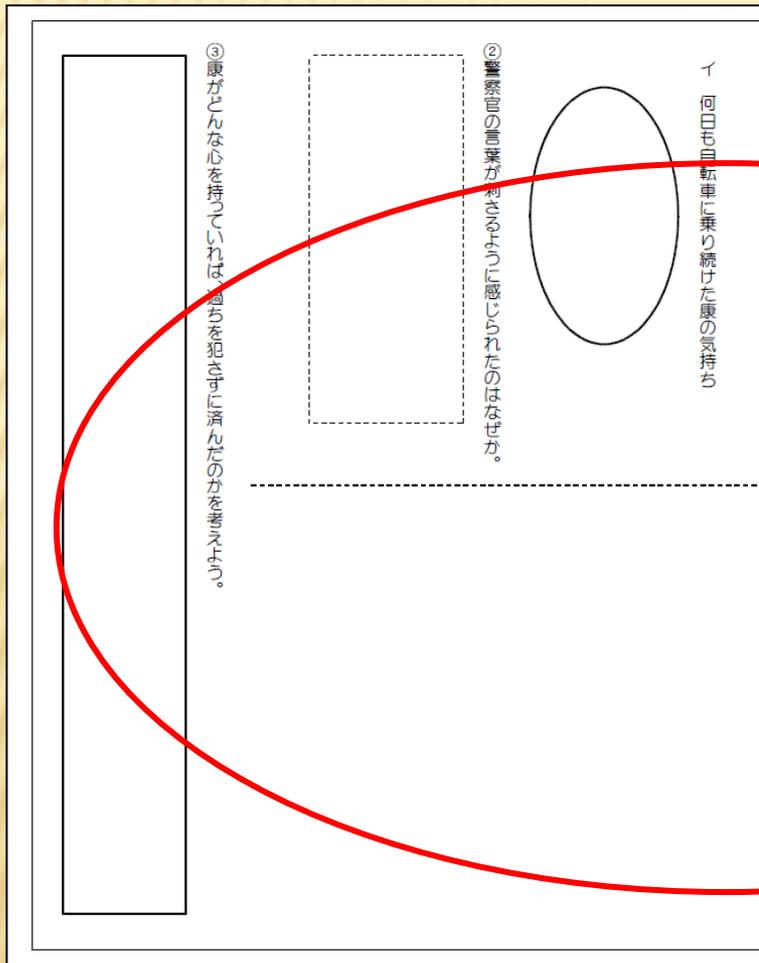
視覚化の工夫

②映像資料と読みものの資料の組み合わせの活用



授業展開の工夫として、導入・展開・終末の各場面に、映像や画像を取り入れて、より、リアリティーの高い資料を工夫する

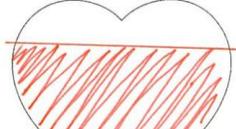
視覚化の工夫



♥自分の心と向き合って♥

1 「正義」や「差別をしない」気持ちを持つことは大切だと思う。

2 困っている人がいたら、声をかけたり、助けたりしている。



授業前



授業後



【意見交流】交流したことを簡単にまとめましょう。

<p>自分の意見 自分で注意したり、とはできないかもしれないけど、影で、大丈夫？できないはできると思うから、少しづついじめなくしたい。けど、行動できないかもしれない。</p>	<p>友達(らむ)の考え すぐいってとめてあげる。大丈夫か、てさく</p>
<p>友達(ひより)の考え 加害者も被害者にも問題があるときは、どっちの話もきいていじめをなくせるよう努力する。</p>	<p>友達(りほ)の考え 知らんぷりすると思う。</p>

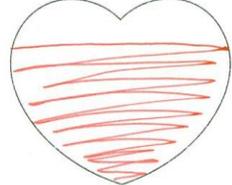
【感想】「正義を貫く」とは、どのような心を言うのか
友達と話し合ったこと(友達の意見)も参考にしながら、あなたの考えを書いて下さい。

私は、行動にうつせるかわかりませんが、みんなの意見をきいてみて、「絶対助ける」とか書いてる人がたくさんいたから、こっちは考えの人がまわりにはたくさんいるなら、私もしイジメられても、助けてくれそうと思っだし、この友達とならイジメもとめられるかなあと思った。

♥自分の心と向き合って♥

1 「正義」や「差別をしない」気持ちを持つことは大切だと思う。

2 困っている人がいたら、絶対に声をかけたり、助けたりする。

共有化の工夫

①一人ひとりが自己との対話を豊かにする工夫



【図3】 自己と他者との対話 (押谷由夫)

共有化の工夫

②話し合いを活性化するための工夫

ペア対話▼

隣同士で自分の考えを伝え、また友達の考えを自分の価値観と比べながら聞く。お互い発言し、学級全員が自分の意見を述べることができる。



意見交流▼

発問に対するそれぞれの意見を班で出し合い交流する。順に1人ずつ意見を述べた後質問したり意見を出したりする。お互いの考え方の違いや共通点の確認、認識の共有を図ることが可能である。



共有化の工夫

③学級の支持的風土づくり

- ・ 朝の5分間読み聞かせ
- ・ 連帯感を高める掲示物の工夫



- ・ 学級レクリエーションの実施



仮説検証のための授業実践

回	月日	校時	検証内容と資料名	内容項目	UD の工夫
1	10月2日	5	道徳アンケート及び実態調査の実施		
2	11月26日 第1時	1	協働学習を用いた話し合い活動① 主題名：思いやり 資料名：「臓器提供」	4-(2) 公德心・社会連 帯の自覚	
3	12月19日 第2時	1	UD の視点を用いた授業実践① 主題名：決まりを守る 資料名：「錆びた自転車」	4-(1) 遵法・社会の秩 序と規律	・板書 ・心情曲線 グラフ
4	1月8日 第3時	5	UD の視点を用いた授業実践② 主題名：差別や偏見のない社会をめざして 資料名：「unique face」	4-(3) 差別や偏見のない 社会の実現	・映像資料 ・心のスケ ール
5	1月15日 第4時	5	UD の視点を用いた授業実践③ 主題名：正しい行い 資料名：「仏の銀蔵」	4-(2) 公德心・社会連 帯の自覚	・ペア討議 ・板書
6	1月22日 第5時	5	UD の視点を用いた授業実践④ 主題名：良心と向き合う 資料名：「悪魔のパスポート」	4-(2) 公德心・社会連 帯の自覚	・映像資料 ・全体討議
7	2月2日 第6時(本時)	5	UD の視点を用いた授業実践⑤ 主題名：正義を貫く 資料名：「葬式ごっこー八年後の証言ー」	4-(3) 正義、公正・公平	・画像資料 ・ペア討議
8	2月24日	6	道徳アンケート及び実態調査の実施		

本時の授業実践



本時の成果と課題

「心スケールによる変容」	増加	変化なし	減少
「正義」や「差別をしない」気持ちを持つことは大切だと思う。	87%	10%	3%
困っている人がいたら，声をかけたり，助けたりする。	93%	7%	0%

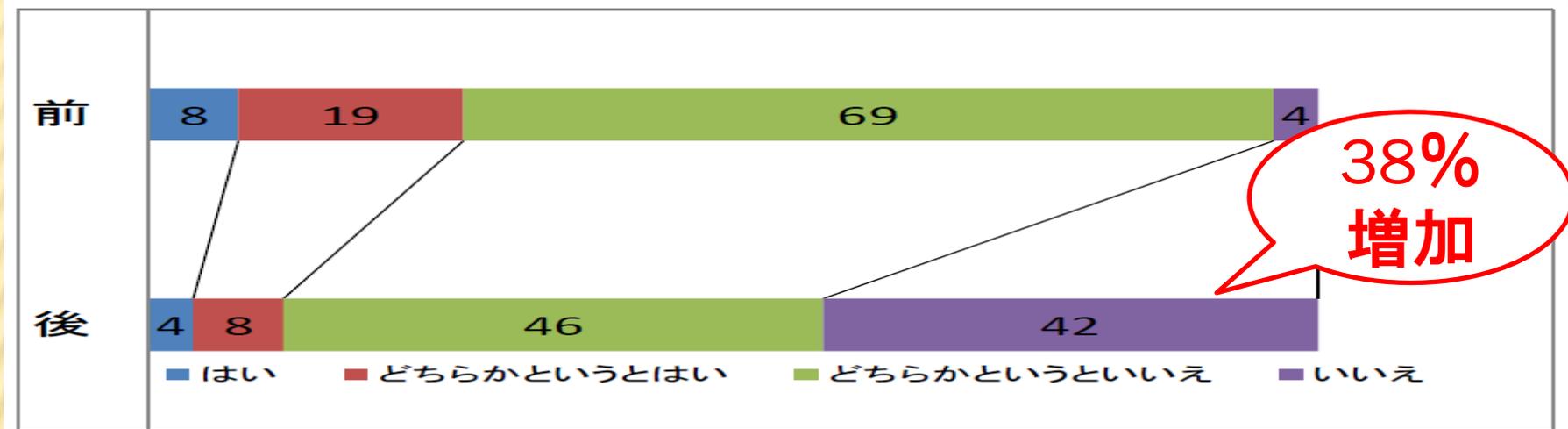
「ペア対話」の取り組み	肯定的	否定的
ペア対話はどうでしたか。	87%	13%

本時の成果と課題

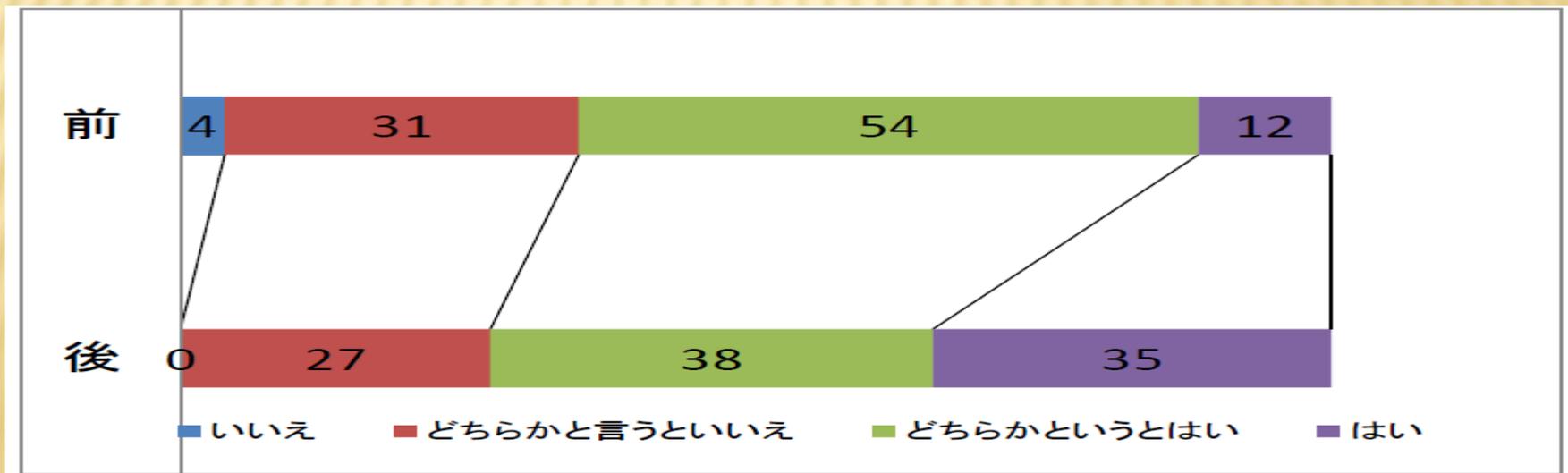
- ◇もっと「なぜ？」「どうして？」「どうする？」を繰り返し、切り返しの発問で、生徒の発言から授業を作っていくことが大切である。
- ◇いじめが良くないことは既存の事実。では、「なぜ、いけないのか？」について中学生に語らせ、話し合わせても良い。
- ◇生徒の「学びのある1時間」にしなければならない。教師が資料分析を行い、何を学ばせたいのかを明確にしておく。
- ◇この資料には力がある。資料を生かす授業を創ることが大切。
- ◇話し合いも、たださせるのでは意味がなくなる。発問に力を入れれば、話し合いも充実してくる。

結果と考察

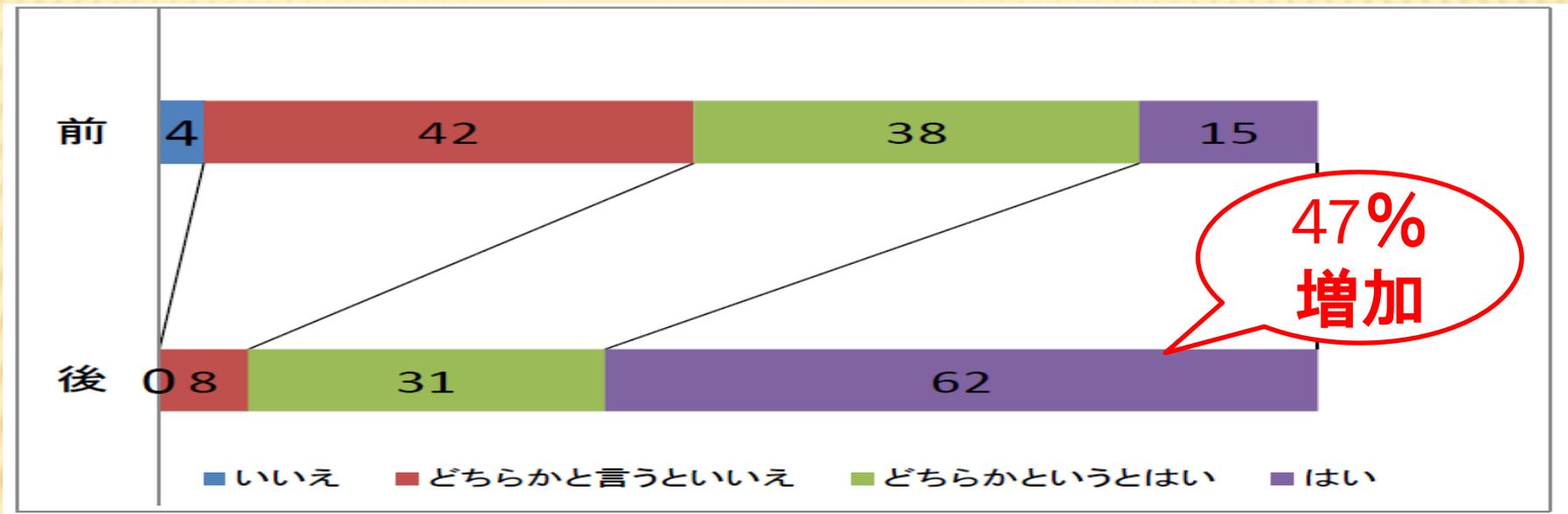
① 「友達と一緒にだと悪いと思うことでも、ついやってしまう」



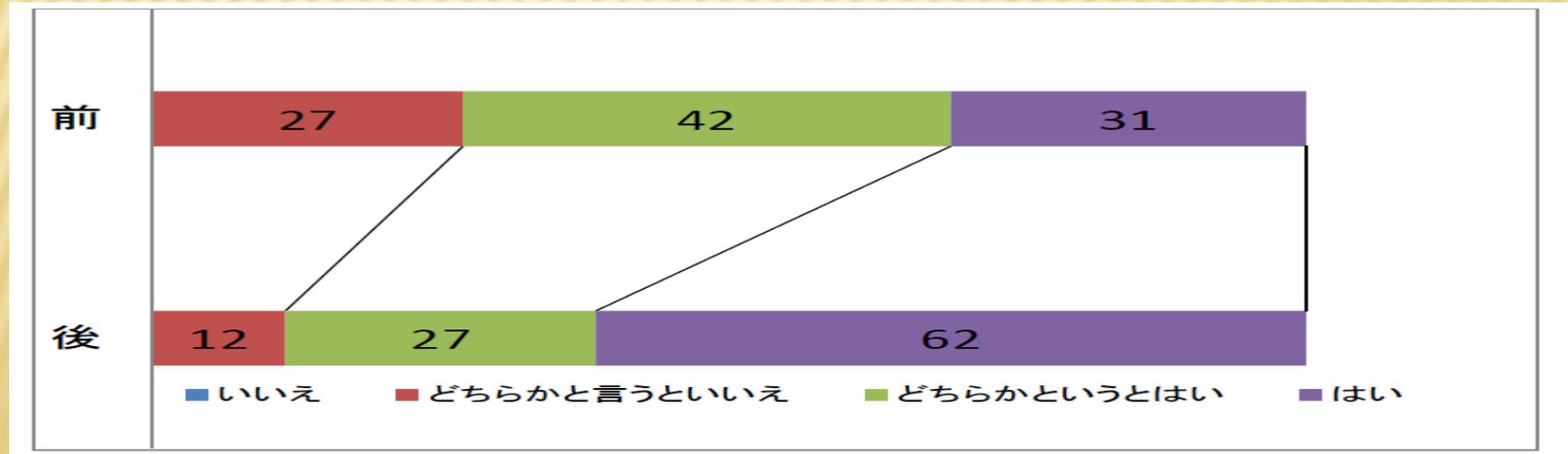
② 「社会の一員として、自分にできることは何かを考えている」



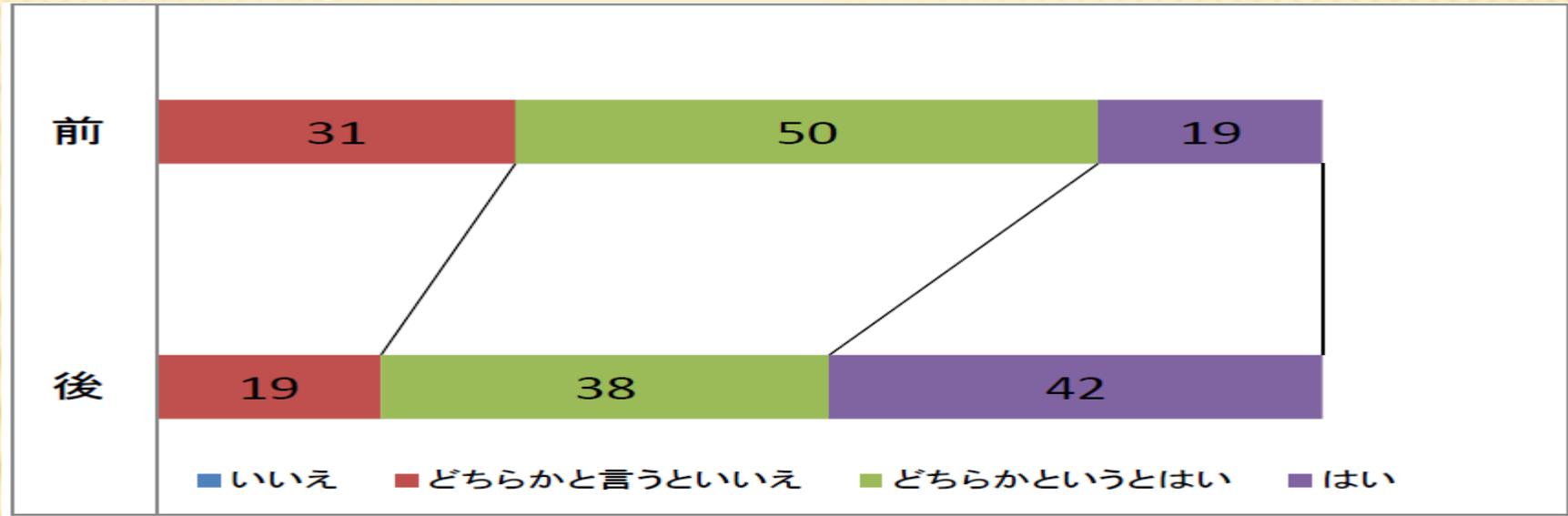
③ 「みんなが一人の人をいじめていたら注意する」



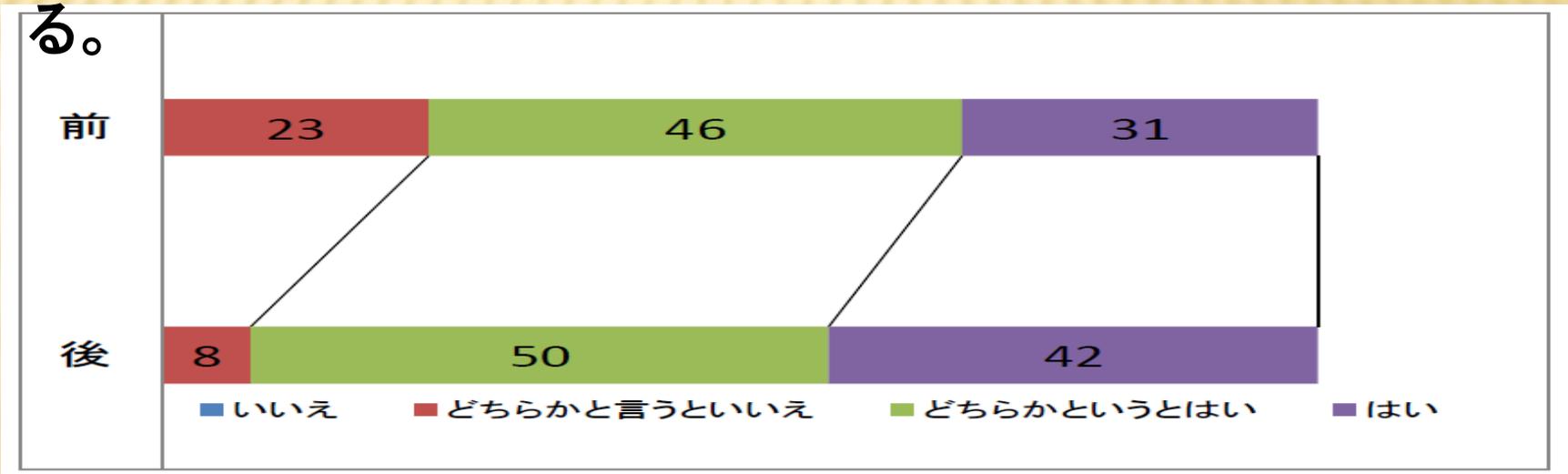
④ 意味もなく差別したり悪口をいったりしない。



⑤ 友達が法律に違反するような事をしようとしていたら注意する。

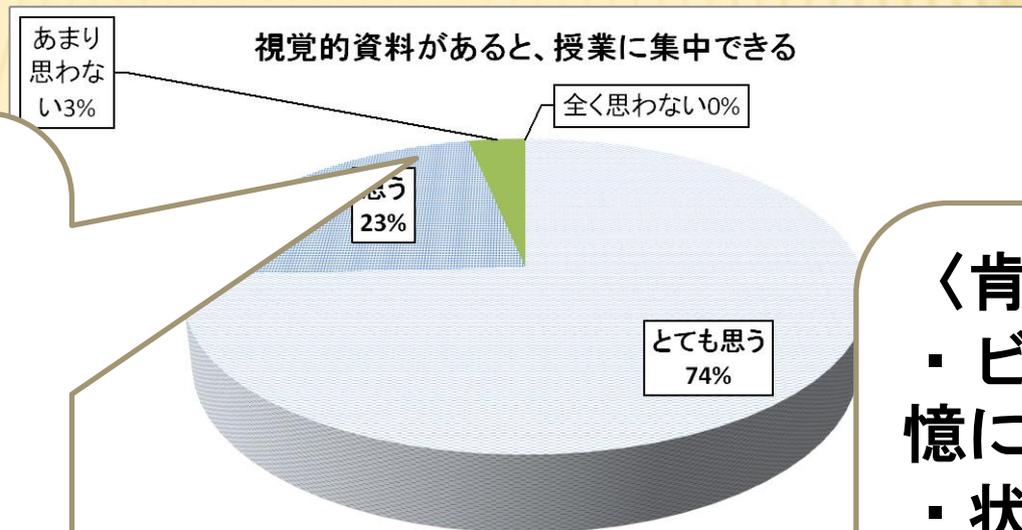


⑥ クラスのみんなで話し合って決めたルールは絶対に守る。



【視点1】ユニバーサルデザイン（視覚化）資料の提示による道徳授業の充実

視覚的資料があると、授業に集中できますか



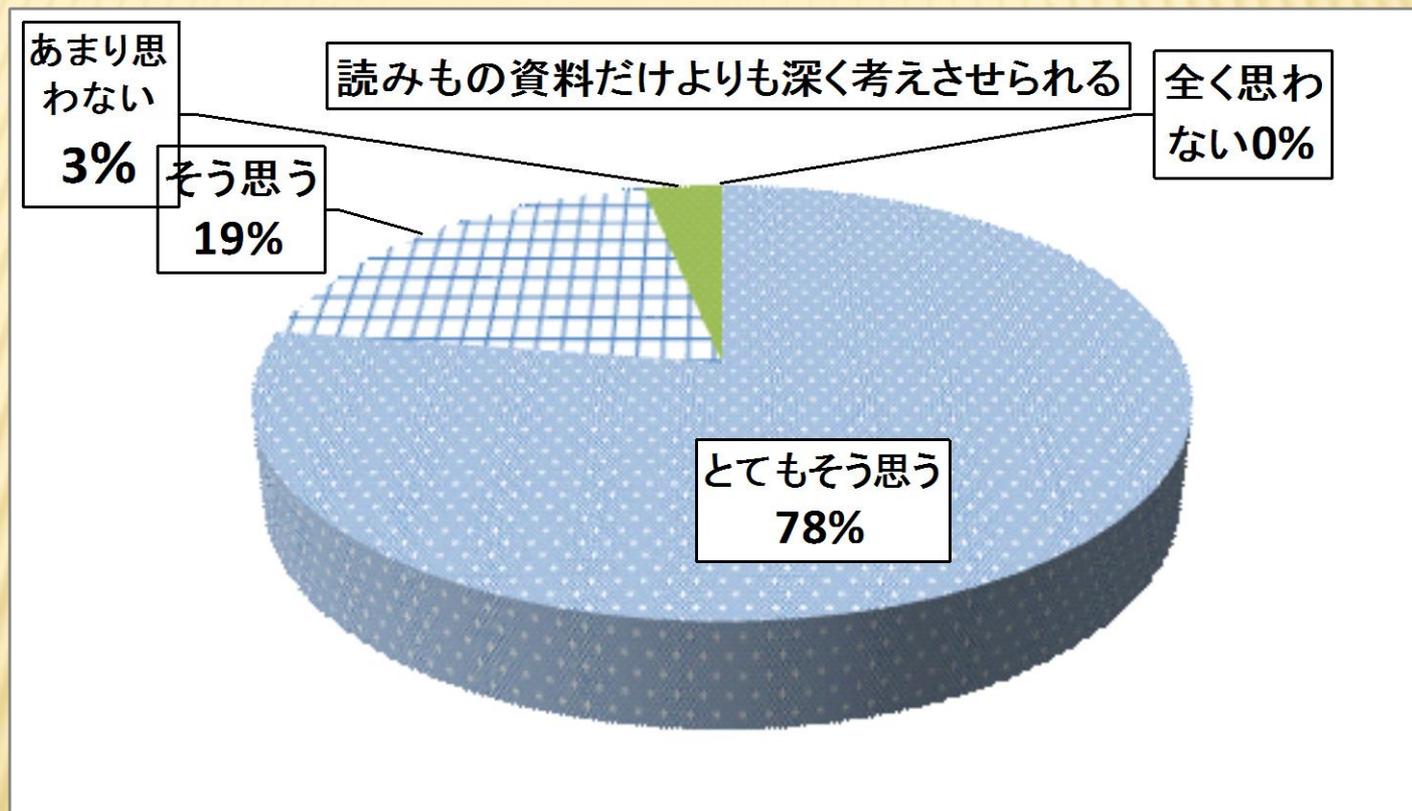
〈否定意見〉

- ・ 読むことが好きだから、読みものだけでも良い。
- ・ あってもなくてもいい。

〈肯定派意見〉

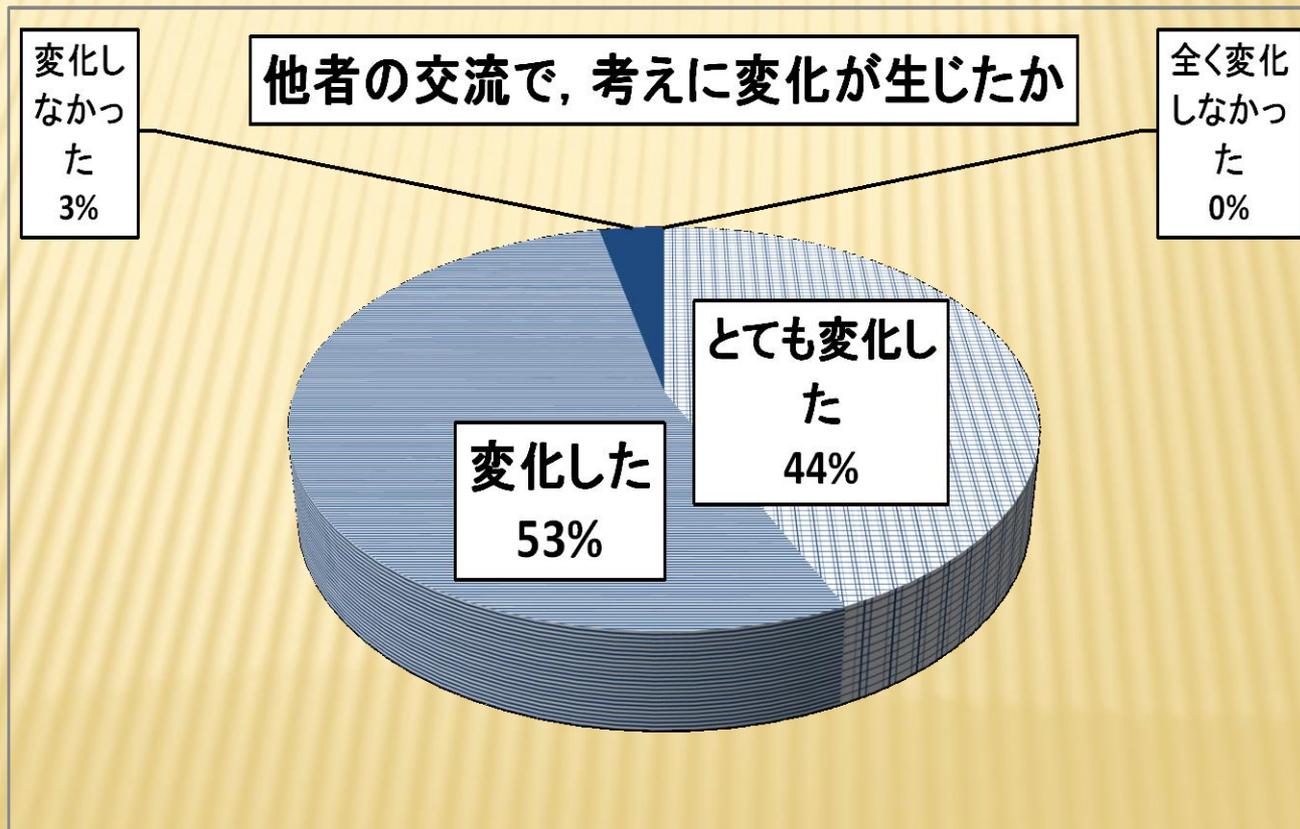
- ・ ビデオだと記憶に残るから。
- ・ 状況が良く分かるし、意味が分かりやすい。
- ・ 楽しい

読みものの資料だけの時よりも深く考えさせられる



【視点2】ユニバーサルデザイン（共有化）他者交流による生徒の道徳的自覚の深まりの変容

話し合い活動で、自分の考えが変わったか



研究の視点1, 2を核にした授業実践は, 「道徳的価値の自覚を深める」ための授業として適切であったか。

○本学級の課題であった, 内容項目4「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の生徒の変容から, **これまでの授業は, 「道徳的価値を深める」手段として有効であった**と考えられる。

(アンケート検証結果により)

☆「道徳的価値の自覚を深める」ことは, 道徳の時間のみでできるものではない。道徳の時間だけで生徒が変容することはなく, **繰り返しの指導が生徒を創っていくことが大切**である。

成果と課題

《成果》

- (1)ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業実践により、意欲的に授業に参加させることができた。
- (2)道徳の時間において、視覚的な資料の提示や話し合い活動をとおして、価値の自覚を深めることができた。
- (3)本学級の道徳的課題であった内容項目4「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の指導を重点的に行うことで、学級の課題の解決に繋がった。
- (4)「道徳が好きになった」という生徒が増加し、道徳の授業への意欲が向上した。
- (5)学級の実態を踏まえた年間指導計画作成の方向性を確認できた。

成果と課題

《課題》

- (1) 道徳的価値の自覚を深めるための生徒の心をさらにゆさぶる「テーマ発問」「場面発問」の工夫。
- (2) 視覚的資料の工夫・開発と生徒の実態に応じた資料の選定。
- (3) 学級の実態把握のための道徳性診断テストの実施。



ご清聴ありがとうございました